



(第8期) 2024年4月1日～2025年3月31日

理念	
1	私たちは、生命(いのち)と人間の尊厳を大切にします。
2	私たちは、個人のいまできることを大切にします。
3	私たちは、世代をこえた共生社会の継続を目指します。
4	私たちは、地域のなかで生かされていることを考えます。
5	私たちは、すべての人々の仏性を信じ、価値観の多様性を尊重します。

中期経営計画 令和5年度～令和7年度 (3ヶ年計画の2年目)
地域の安心のために、人事・財務・自然リスク管理を向上させて法人の持続可能性を高める。 ①人材確保と人材育成。採用と離職防止施策の充実～質の向上への自動化。 ②法人の持続可能性の向上。稼働率向上による財務安定 ③感染症、自然災害への対策と対応。地域福祉拠点への礎を築く。

年次目標	実施事項・結果報告
「感染拡大防止・安全体制確立と稼働目標達成の両立」 ・感染対策の継続とコロナ禍からの脱却 ・賃上げと介護の質改善。ムダとりと職務設計の見直し、人材育成による生産性向上。 ・福祉サービス第三者評価の受診。事故等防止QCと認知症ケア技術の向上。 ・稼働目標(各事業ごとの数値)を達成し、事業継続の基盤をつくる。	・クラスター0件。 ・賃上げ4.5%、DX推進 ・受診延期、研修の改善 ・下記報告

各事業ごとの運営目標	実施評価項目
①特別養護老人ホーム ことりの郷 (ショートステイ含む) Hygge その人らしく暮らし続けられる、居心地の良い場を創る	■介護の質向上 ・離職率9.5% ・アンケート実施：清掃強化
②特別養護老人ホーム ことりのはな Hygge その人らしく暮らし続けられる、居心地の良い場を創る	■介護の質向上 ・離職率9.1% ・アンケート実施：清掃強化
③デイサービス ことりの杜 笑顔と健康といきがいのある場をつくる 「笑っちゃう? 元気になっちゃう? 通っちゃう!」	■利用率向上 コロナの影響で不調
④ことりのうた保育園 未来に羽ばたく「生きる力」と、皆と「共に生きていく力」を育む	■愛着形成向上 ・個別育成の計画を实践
⑤病児保育室 あおぞら コロナ禍による利用者激減のなか、サービス提供体制を維持する	■事業の継続 ・助成による赤字回避

事業活動

・稼働目標 収入予算額	単位：千円	当初予算	補正予算	実績
①特別養護老人ホーム ことりの郷 (ショートステイ含む)	収入	173,195	170,000	175,953
年間 95%稼働 (特養98% SS85%)	稼働	95%		87%
※ショートステイで補正予算未達が発生しました。受入元の感染クラスター要因。				

②特別養護老人ホーム こりののはな 年間 95%稼働	収入 稼働	96,460 95%	96,460	97,424 91%
②デイサービス こりの杜 年間 45%稼働 利用者数 22.5人/日	収入 稼働	56,442 45%	43,500	45,935 32%
③病児保育室 あおぞら 目標設定なし（コロナ前の目標は600人）	収入 稼働	16,064 なし	17,000	17,934 551名
④こりのうた保育園 月極利用 8.2/12人	収入 稼働	28,268 8.2	25,634	28,625 7人

法人活動		実施評価		
・ガラス張りの運営：サービス体制、経営状況の外部公表		・日本財団CANPAN 最高評価獲得		
・持続への基礎固め：稼働とコスト意識の向上。職員の貢献意欲醸成。		・未達。感染対策で足踏み		
・事業継続計画（BCP）：災害等に備えた計画のブラッシュアップ。		・実施		
企画開催予定				
通年	なんでも福祉相談事業（県社協）	・実施		
状況次第で開催	ことりフェスティバル（博仁会共催イベント）	・感染対策で延期		
状況次第で開催	ボランティア受け入れ	・感染対策で延期		
状況次第で開催	オレンジカフェ（特養施設内）	・感染対策で延期		
10月	地区運動会・防災参加（あんしんセンターことり含む）	・実施		

会議 研修等

役員会等				実施状況
理事会	6月初旬	3月中旬	業務執行上の事項および諸問題を審議し、企画立案を行う。	6/8、3月書面開催
評議員会	6月中旬	3月下旬	管理運営上の重要事項及び事業の方針について審議、決定を行う。	6/25、3月書面開催
監事会			運営管理、執行状況、財産の状況について監査を行う。	2024/5/25
事業所ごとの会議、委員会				実施状況
運営推進会議 （こりの郷・こりののはな）	奇数月第三火曜	特養の質向上を目的として、利用者と家族、地域の方、行政を招いて会議を行う。地域密着型サービスの要件。		5/13、7/8、9/9、11/11 1/20、3/10実施
各種委員会	開催日	目的		実施状況
事故防止委員会	毎月最終火曜	事故防止を目的に、事故やヒヤリハットの検討を行う		実施
感染食中毒防止委員会	毎月最終火曜	感染防止等を目的に、研修の企画、事例の検討を行う		実施
災害対策委員会	4半期最終火曜	年2回の訓練を中心に、災害時対応の検討を行う		実施
身体拘束虐待防止委員会	4半期最終火曜	身体拘束虐待防止を目的に、事例検討、研修企画を行う		実施
パーソンセンタードケア委員会	4半期最終火曜	認知症ケアの向上を目的に事例検討、研修企画を行う		実施
褥瘡予防委員会	毎月最終火曜	褥瘡予防を目的に、研修の企画、事例検討を行う（保育除く全事業所）		実施
研修委員会	毎月第3木曜	エビデンスに基づいた技術取得を軸に業務の見直しを行う。		実施
村長会議	毎週木曜	事業所間の情報共有、安全対策部門、生産性向上等の運営の立案（全事業所、あんしんセンターの管理者、役職者、リーダー）		実施
研修会	開催月	テーマ		
事故防止研修会	7、1月	全員参加で事例分析と対策を検討し、事故発生確率を最小化させる。		6/13、7/18、1/21、2/25
感染食中毒防止研修会	8、11月	最新のエビデンスに基づいた感染拡大防止に資する研修を計画する。		8/21、1/23
虐待防止および	5、10月	虐待発生メカニズムを理解すること、およびユマニチュードの習得を		4/25、7/25
身体拘束防止研修会	5、10月	通じて認知症への理解を深め、利用者の尊厳を支えるケアを実践する		
災害対策BCP研修会	6、12月	火災災害訓練を年2回以上。BCPに基づく訓練と検証をおこなう。		6/13、2/25
褥瘡予防研修会	2月	褥瘡予防技術の向上と、LIFEの統計を用いて栄養面の改善を計画		4/1、2/25
ことり式Hyggeプラン定例会	毎月第4金曜	入所者のQOLをあげるために、個別ケアの検討をおこなう。		毎月実施

人事 HRM施策（事業ごとにPDCAをおこなう。）		実施評価
「一人ひとりが、働きがいを感じる ことりむら」		
採用	<ul style="list-style-type: none"> ・特養SS人員配置 2.5:1維持、離職がでる場合は補充を行う。 ・コロナ後、デイサービスの稼働改善時は応分の増員をおこなう。 統計及び事業ごとの財務状況を勘案した計画。	増員達成 増員達成 保育士増員
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の貢献を見える化して定量的な評価方法を作成する。 ①理念と事業所目標に沿い、個人ごとにキャリアパスに基づく自己研鑽と利用者にとって価値のある目標を設定（職階別評価シート 4月提出）。 ②目標管理面談（MBO面談:①を軸に面談 6月実施）。 ③法人のキャリアパスとMBOで評価をおこなう。	キャリアパス見直し MBO実施（常勤者） 職階評価の実施 外部研修年間計画策定
育成	<ul style="list-style-type: none"> ・職員個々がやりがいを感じるための支援。人財の定着をはかる。 ①業務の最低基準の担保。個々人が自信をもって働くための支援。 ②職員の職業への価値観を測定する。（キャリアアンカー@M.I.T） ③LIFEを活用し、利用者の状態を科学的な視点で共有する。 ④新卒介護員向けの教育体制の見直し ⑤職員の自己研鑽を奨励。適切な外部研修への派遣 ⑥個々への自己研鑽の奨励：資格取得支援策の整理と明示	委員会担当者任命 全員の測定達成 事例発表者数19人 施設内研修11回 外部研修派遣 72.6%
離職対策	<ul style="list-style-type: none"> ・やる気のある人財が残りたい環境をつくる。 離職率が高い業界で、離職理由の上位は「給与」「人間関係」。 給与面改善につづいて、やる気のあるチームづくりを目指す。 <ul style="list-style-type: none"> ・施設内感染を防止して、職員負担の増大を避ける。 	リーダー役の配置 賃上げ4.5%実施 生産性向上DX クラスター 0 回

